

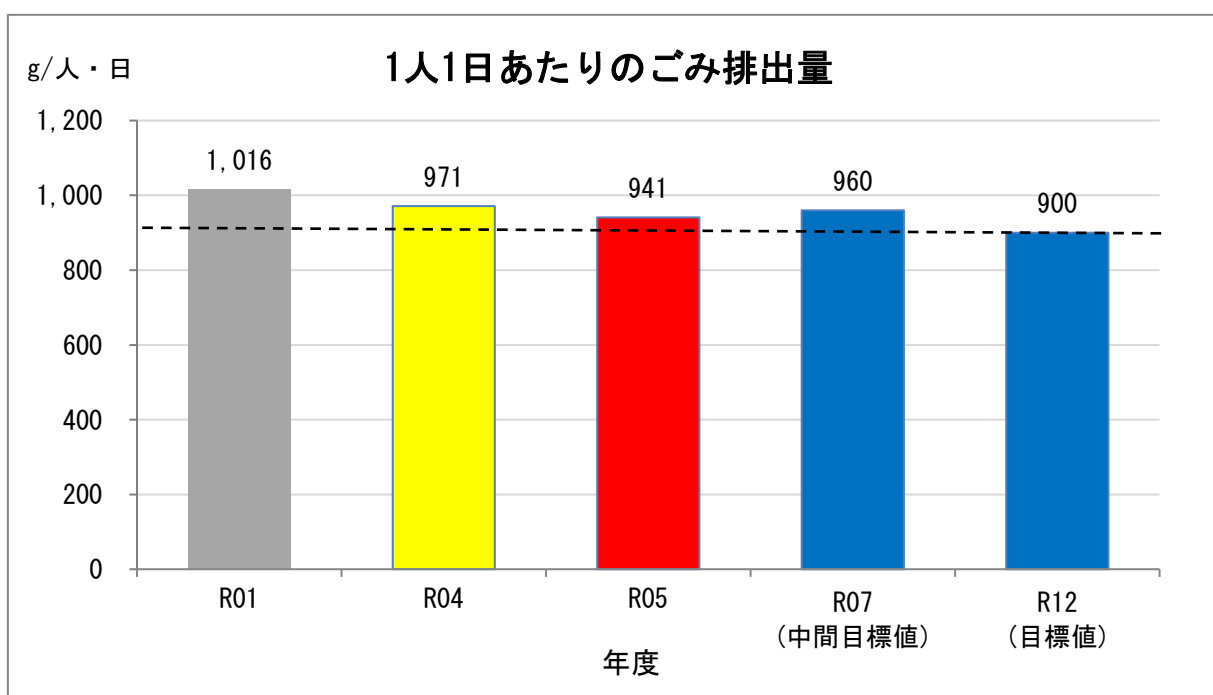
一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の数値目標の達成状況について

【指標No.1】 1人1日あたりのごみ排出量

(1) 実績と数値目標

(単位：g/人・日)

		実績	基準値・目標値との比較		
			R01	R07	R12
基準値・目標値		－	1,016	960	900
実績	R04	971	△45	11	71
	R05	941	△75	△19	41



※ 基準値：令和3年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画における基準とした数値（令和元年度実績値）

※ 目標値：令和3年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画におけるR7年度目標値及びR12年度目標値

(2) 状況分析

令和5年度の実績は、R7年度目標値を19g/人・日下回り、R12年度目標値を41g/人・日超過する結果となりました。

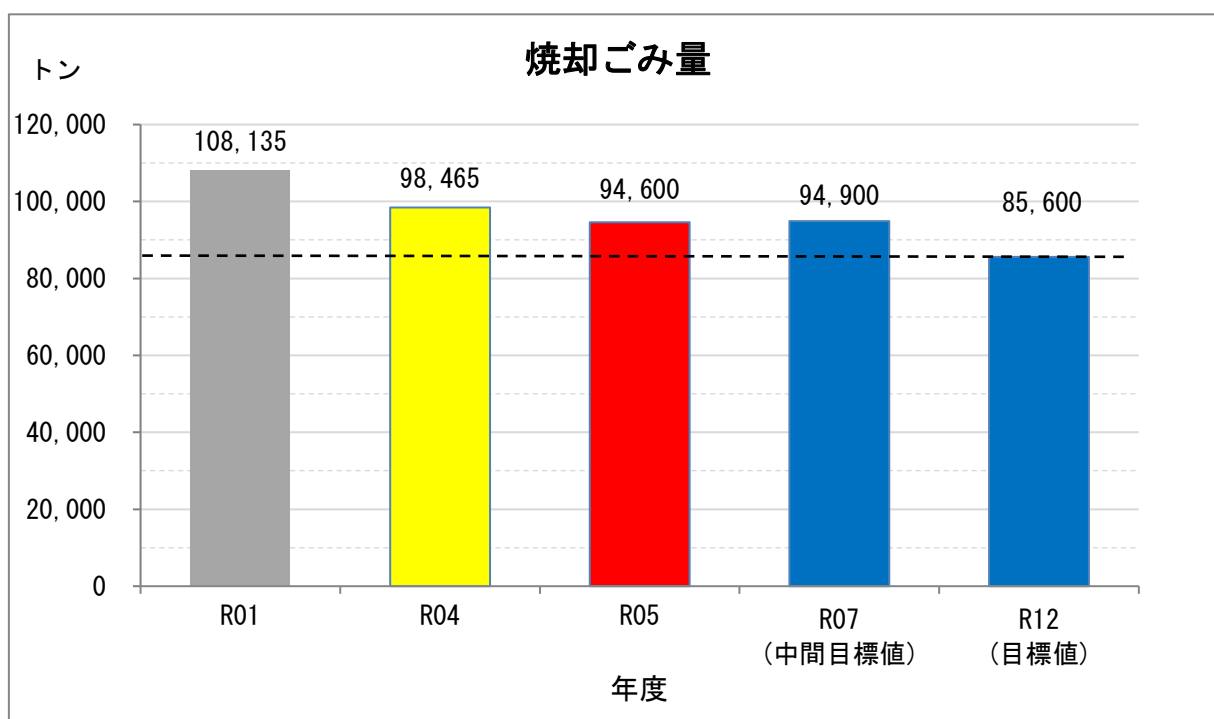
1人1日あたりのごみ排出量は、前年度に引き続き減少したため、令和3年3月に改定した基本計画で位置付けている令和7年度目標値（960g/人・日）を達成しましたが、令和12年度目標値（900g/人・日）を達成するため、これまで以上に、ごみの発生・排出抑制を図る必要があります。

【指標No.2】焼却ごみ量

(1) 実績と数値目標

(単位：トン)

		実績	基準値・目標値との比較		
			R01	R07	R12
基準値・目標値		－	108,135	94,900	85,600
実績	R04	98,465	△9,670	3,565	12,865
	R05	94,600	△13,535	△300	9,000



※ 基準値：令和3年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画における基準とした数値（令和元年度実績値）

※ 目標値：令和3年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画におけるR7年度目標値及びR12年度目標値

(2) 状況分析

令和5年度の実績は、R7年度目標値を300トン下回り、R12年度目標値を9,000トン超過する結果となりました。

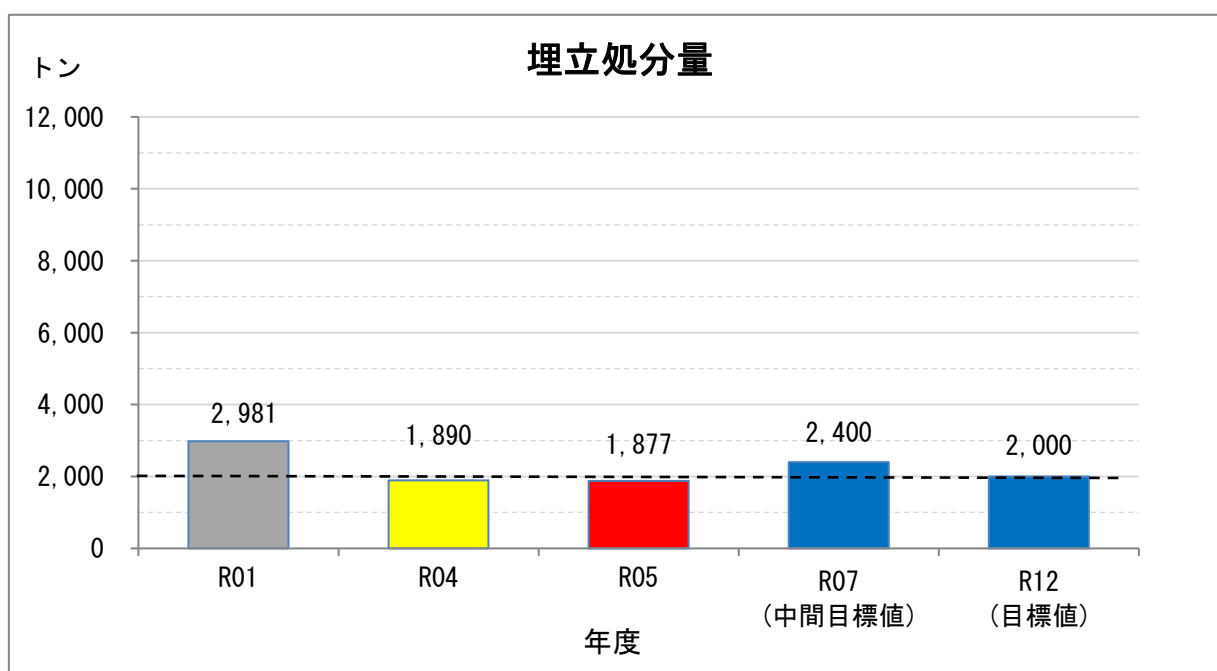
焼却ごみは、前年度に引き続き減少したため、令和3年3月に改定した基本計画で位置付けている令和7年度目標値（94,900 t/年）を達成しましたが、令和12年度目標値（85,600 t/年）を達成するためには、更なる減量が必要であることから、適正分別による混入ごみの減少や、生ごみの水切りなどによる減量努力によって、焼却ごみの発生・排出抑制を図ります。

【指標No.3】埋立処分量

(1) 実績と数値目標

(単位：トン)

		実績	基準値・目標値との比較		
			R01	R07	R12
基準値・目標値		－	2,981	2,400	2,000
実績	R04	1,890	△1,091	△510	△110
	R05	1,877	△1,104	△523	△123



※ 基準値：令和3年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画における基準とした数値（令和元年度実績値）

※ 目標値：令和3年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画におけるR7年度目標値及びR12年度目標値

(2) 状況分析

令和5年度の実績も、R12年度目標値を達成しました。

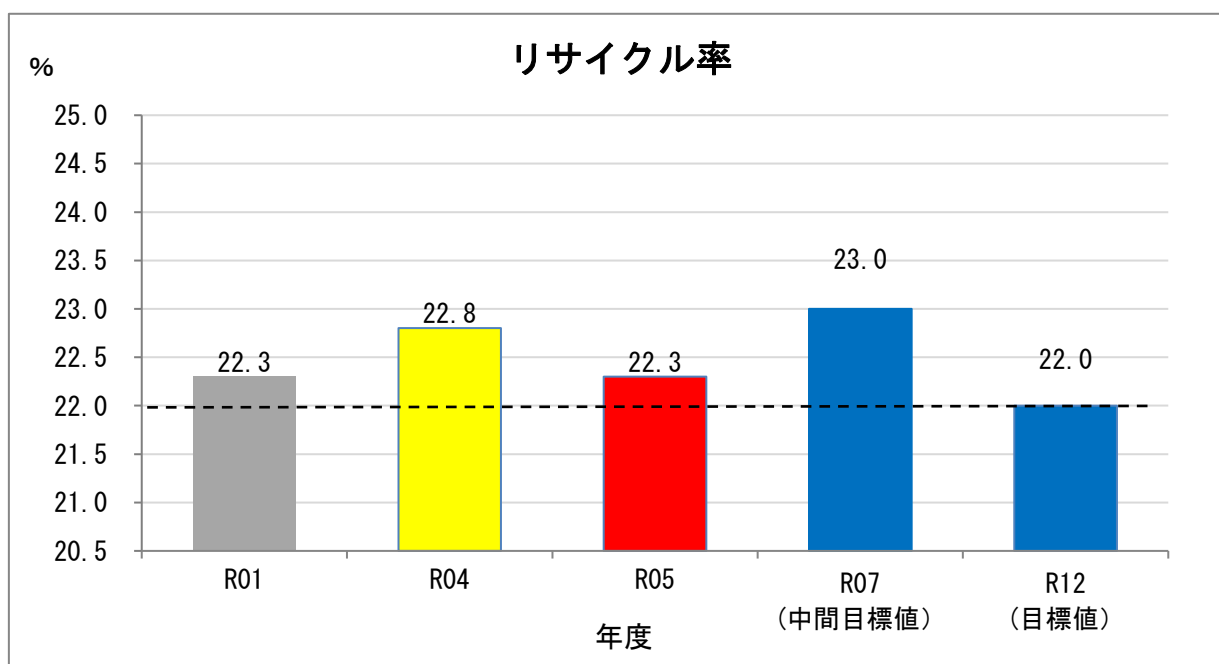
しかし、今後も、減量化やリサイクル化を図り、最終処分場の更なる延命化を図る必要があります。

【指標No.4】リサイクル率

(1) 実績と数値目標

(単位：％)

		実績	基準値・目標値との比較		
			R01	R07	R12
基準値・目標値		－	22.3	23.0	22.0
実績	R04	22.8	0.5	△0.2	0.8
	R05	22.3	0.0	△0.7	0.3



※ 基準値：令和3年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画における基準とした数値（令和元年度実績値）

※ 目標値：令和3年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画におけるR7年度目標値及びR12年度目標値

(2) 状況分析

令和5年度の実績は、古紙の減少などにより、リサイクル率を向上させることが難しい状況ですが、資源ごみの収集量の増加や、焼却灰の全量リサイクルなどにより、リサイクル率を維持している状況です。

令和3年3月に改定した基本計画で位置付けている目標値（令和7年度：23.0%、令和12年度：22.0%）を達成していくためには、今後も引き続き、ごみの発生・排出抑制と分別の徹底を図る必要があります。